

発 言 通 告 書 要 旨 (1枚目/全5枚)

氏 名 東野 真樹

発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
1 (1)	<p>未来型商業エリアの開発について 事業を推進すると判断した理由について</p> <p>昨年12月定例会において市長は、本事業について、基本は民間事業者による開発ではあるものの、これまでの経緯や本市の中心における重要な事業であることを踏まえ、時間をかけ、マーケティングやまちづくりに関する知見を有する有識者など、各方面の意見を聞いた上で判断するとの考えを示した。その後、5月15日の議員説明会において、有識者評価結果の説明と公表が行われ、市として本事業に協力していく方針を示した。</p> <p>市が本事業への協力を判断するにあたり、様々な評価項目や賛成・反対の両方の意見があった中で、最終的な判断の決め手となった最も重要なポイントは何だったのか。</p> <p>また、市長自身がどのような理由や考えに基づいて判断したのか。</p> <p>さらに、本事業は市民の関心も高く、本市の将来に大きな影響を与える事業であることから、市長の判断理由や有識者評価結果の内容を、市民に対してより丁寧かつ分かりやすく説明し、理解を求めていく必要があると考えるが、市長の考えを問う。</p>	
(2)	<p>今後のスケジュールについて</p> <p>市が事業推進を決めたことにより、これから開発がリスタートすることになるが、この間の検討期間を経たことで、民間事業者である株式会社長工による開発スケジュールについても、当初の計画から変更が生じることが想定される。現在、事業者における開発計画や事業スケジュールはどのような状況にあるのか、市が把握している内容を問う。</p> <p>また、市は連携協定に基づき、道路や上下水道などのインフラ整備について協力することとなっているが、市が担うインフラ整備については、今後どのようなスケジュールで進めていく予定なのか。</p> <p>さらに、事業者による開発と市のインフラ整備を円滑に進めるため、今後どのような工程管理や連携体制を構築していく考えなのか。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (2枚目/全5枚)

氏 名 東野 真樹

発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
2 (1)	<p>片山津 I C 産業団地整備事業について 進出断念に至る経緯について</p> <p>片山津 I C 産業団地整備事業は、加賀市の成長戦略の柱として進められてきた重要な事業である。しかし、第一交渉権者であった小松ウォール工業株式会社が、中東情勢の悪化に伴う資材価格や建設コストの高騰などを理由として進出を断念することになった。同社は、長年にわたり加賀市と深く関わりのある企業であり、今回の判断も、企業を取り巻く経営環境の変化による苦渋の決断であったと理解している。</p> <p>一方で、市民の立場から見れば、小松ウォール工業株式会社の進出を前提として整備を進めてきた産業団地が、完成直前で白紙となったことは重大な問題である。特に、土地の譲渡が実現しないまま完成を迎えれば、起債の利子負担や維持管理費など年間約 2,000 万円もの経費が発生するとされており、市民負担の観点からも一刻も早く次なる企業を見つけなければならない状況である。</p> <p>市は小松ウォール工業株式会社からの進出断念の意向をいつ把握したのか。</p> <p>また、その後どのような協議を行い、計画継続の可能性についてどのように調整を行ってきたのか。</p>	
(2)	<p>市のリスク管理について</p> <p>今回、市は特定企業の進出を前提として約 9 ヘクタールの土地整備を進めてきたが、結果として、完成直前で計画変更になった。この結果について、企業誘致事業におけるリスク管理や事業推進の在り方をどのように検証しているのか。</p> <p>また、資材高騰や世界情勢の変化などにより、企業の投資計画が変更される可能性について、これまでどの程度想定していたのか。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (3枚目/全5枚)

氏 名 東野 真樹

発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
(3)	<p>次なる企業誘致の見込みと分譲方法の見直しについて</p> <p>現在、市は新たな企業誘致に向けてどのような活動を行っているのか。また、具体的な引き合いや交渉中の企業はあるのか。さらに、いつ頃までに新たな進出企業の方向性を示したいと考えているのか。</p> <p>あわせて、今回の経験を踏まえ、1社への一括分譲ではなく、区画を分けて複数企業へ分譲するなど、リスクを分散する手法を検討すべきではないか。その場合、計画変更に伴う許認可や各種申請手続きは必要となるのか。また、どの程度の期間や費用が見込まれるのか。</p> <p>さらに、第1工区が埋まらなければ第2工区の農振除外申請に進めない状況にあると聞いているが、地権者や耕作者に対する説明も含め、この課題に対する考え方と今後の対応についても問う。</p>	
(4)	<p>今後のリスクアセスメントについて</p> <p>今回の事例は、企業誘致が成立したとしても、社会情勢や経済情勢の変化によって、計画が変更される可能性があることを示したものと考える。そこで、今後新たな企業と交渉を進めるにあたり、「どの段階で契約上の拘束力を持たせるのか」「急遽進出を断念した場合の市の損失をどのように軽減するのか」「保証金や違約条項などを含めたリスク対策を検討しているのか」「同様の事態が再び発生した場合の対応マニュアルやリスクアセスメントをどのように構築していくのか」などについて、今回の件を踏まえた、今後の考えを問う。</p>	
3	<p>(1) 大聖寺ゲートウェイについて 指定管理について</p> <p>施設運営・管理全般の業務を行っていた、株式会社HEP JAPANが急激な経営状況の悪化により、指定管理を行うことが困難になったため、急遽、加賀市総合サービス株式会社に管理委託することになり、今回の補正で管理委託費として550万円を計上している。そこで、管理委託費の内訳と現在閉鎖している施設利用も含めた、管理委託する内容の詳細を問う。</p> <p>また、管理委託費が発生するのであれば、令和7年2月に行った大聖寺実業高校との意見交換会で、「コワーキングスペースを無料で開放してはどうか」という意見があったが、その可能性はあるのか、所見を問う。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (4枚目/全5枚)

氏 名 東野 真樹

発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
(2)	<p>今後の指定管理者の選定について</p> <p>大聖寺ゲートウェイは、事業開始当初、市が施設整備などの初期費用を負担する一方、運営については民間活力を活用し、管理委託費を発生させないことを基本方針としていたと認識している。</p> <p>しかし、今回の指定管理者変更に伴い、新たに年間550万円の指定管理料が必要となる見込みであり、当初方針との整合性が問われる。</p> <p>そこで、今後の指定管理者選定にあたり、管理委託費の抑制を図るため、ベーカリーカフェと会議室、コワーキングスペースを分離して運営し、ベーカリーカフェについては、チャレンジショップやテナント方式による運営を検討してはどうかと考えるが、所見を問う。</p>	
4	<p>動橋駅活用事業について</p> <p>動橋駅活用事業については、これまで動橋地区活性化を考える会が中心となり、約6年にわたり地域住民へのニーズ調査や事業計画の検討、加賀市やIRいしかわ鉄道株式会社との協議を重ねてきた結果、県によりトイレが改修され、また令和4年度、令和6年度と2度にわたり予算化され、事業提案募集まで進めたが、市長選挙等により現在は中断した状態となっている。令和8年3月には、動橋地区活性化を考える会が山田市長に対し、これまでの経緯や提案内容を説明し、市長からは、北側からの乗り入れ口も含め、前向きに検討するとの考えが示された。また、IRいしかわ鉄道株式会社からは、「まず加賀市として何をしたいのか示してほしい」との意向も示されている。</p> <p>市は、これまで地域が積み上げてきた提案をどのように評価しているのか。</p> <p>また、動橋駅活用事業について、今後の方向性と事業再開に向けたスケジュールをどのように考えているのか、所見を問う。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (5枚目/全5枚)

氏 名 東野 真樹

発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
5	<p>加賀市スポーツセンターの屋根修繕について</p> <p>加賀市スポーツセンターは、市民のスポーツ活動の拠点であるとともに、災害時の避難所としても重要な施設である。</p> <p>しかし、現在発生している雨漏りにより、プロチームの試合や公式試合等の開催に支障が生じるほか、令和6年に1,320万円をかけてコーティング整備した体育館床の雨漏れによる劣化も懸念されている。また、市の拠点避難所としての機能維持の観点からも早急な対応が必要と考える。</p> <p>そこで、屋根の大規模修繕に向けた計画について、現時点での考えを問う。</p>	
6	<p>加賀市中央公園プールの跡地利用について</p> <p>加賀市中央公園プールの解体費用は、令和6年9月の加賀市水泳プール再整備に係る官民連携事業検討業務の試算では、約4億2,600万円とされており、物価高騰を踏まえると今後さらに増加することが予想される。新加賀市市民水泳プールの完成に伴い、跡地利用の検討が進められると思うが、多額の費用をかけて解体するのではなく、旧屋内プールについては、施設の安全性や屋根の状態などを調査した上で、比較的低コストで整備可能なアーバンスポーツ施設としてリノベーションすることも有効な選択肢と考えるが、所見を問う。</p>	